

## 温室効果ガス削減計画

### 1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社 オンド 八本松工場

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市八本松飯田1丁目1番1号

(3) 業種

自動車部分品・附属品製造業 3113

(4) 事業所位置図  
別紙のとおり

### 2 計画の期間

本計画の期間は、平成26年度を基準年度とし、平成27年度から平成31年度までの5年間とする。

### 3 計画の基本的な方向

《基本方針》

株式会社オンドは、自動車部品等の設計・開発・製造・出荷及び排出物の最終処分に関わる全ての企業活動において、自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。

このため次の行動指針を定めます。

《行動方針》

(1) 私たちは、環境に関する法規制及び同意するその他の協定を順守するとともに、自己管理を徹底します。

(2) 私たちは、企画・開発段階から生産・使用・廃棄に至るまで一貫して環境との調和を配慮した企業活動を推進します。

(3) 私たちは、地球環境保全に貢献するため、廃棄物の削減、再利用、省エネルギー、省資源を推進し、汚染の予防に努めます。

(4) 私たちは、環境目的及び目標を設定し、定期的に見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的な改善を行います。

(5) 私たちは、環境方針を職場に掲示すると共に、ポケットブックを全員に配布し、環境方針及び環境目的を理解させます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成26年度	平成27年度
二酸化炭素	12,777	12,252

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	基準年度	直近年度
	平成 年度	平成 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF <sub>6</sub> NF <sub>3</sub> )		

## 5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)		削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>					0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
その他 温室効果ガス					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量			-		0
目標設定の考え方					

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

換算重量 単位:t

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，原単位置量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成26年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成31年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	12,777	21,500	0.59	11.9	12,000	23,000	0.52
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量				#VALUE!			
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	-	-	4,472	5.0	-	-	4,250
目標設定の考え方	直近排出量及び生産量増加を考慮し、5年後の平成31年度に原単位約12%低減を目標とし活動を行う。又、原油換算klについては生産量の増加を考慮し、31年度に5%低減させることを目標とする。						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電力使用量の削減	前年度比 1%削減 (使用鋼材重量当たり)	○冷暖房機器の温度適正管理 ○休憩時の照明OFFの徹底 ○コンプレッサー・クーラントポンプのインバータ制御
2	燃料使用量の削減	前年度比 1%削減 (使用鋼材重量当たり)	○低燃費車への切替え ○暖房器具の灯油を使用しないタイプへの切替え
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物の分別		ゴミの分類毎に分別し、再生可能な資材については業者へ引き取ってもらいリサイクルしている。
2	地域性清掃の実施	2回/年	上期、下期に1回ずつの地域清掃を実施し、地域社会との共存を図っている。
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

